

講義シラバス

科目名	上級筆記対策	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生		
講師名	河合 静香	講師 プロフィール	看護師資格取得後、総合病院、クリニック等で勤務したのち、美容専門学校で解剖生理学、皮膚学、衛生管理、栄養学、筆記試験対策の講師を務める。						

【授業を通じての到達目標】

Ajesthe認定上級試験の合格を目標とした学習を通じて、実技で行う様々な手技や施術等についての総合的な知識を持ち、根拠を理解できる。

【学習内容】

AJESTHE筆記試験対策として、試験例題集の演習を行う。

【使用教科書・教材・参考図書】

「新エステティック学第2版」理論編ⅠⅡⅢ、技術編ⅠⅡ
AJESTHE 認定上級エステティシャン 試験例題集

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

試験例題集の予復習等の宿題あり

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/27)	【到達目標】 皮膚科学(皮膚の構造、働き、疾患についての問題を解くことができる。) 解剖生理学(細胞、骨系、筋系、神経系について問題を解くことができる。)	⑨ (12/13)	【到達目標】 模試(全範囲を通しての模試を実施し、7割以上正解することができる。)
② (10/4)	【到達目標】 皮膚科学(シミ、シワ、ニキビ、紫外線の影響、身体と皮膚の関係、肌分析についての問題を解くことができる。) 解剖生理学(呼吸器系、循環器系、消化器系、泌尿器系、生殖系系についての問題を解くことができる。)	⑩ (12/20)	【到達目標】 模試(全範囲を通しての模試を実施し、7割以上正解することができる。)
③ (10/18)	【到達目標】 生命活動とホメオスタシス(ストレスと免疫系、自律神経系の働きについて、ホメオスタシスについての問題を解くことができる。) 救急法(エステティシャンに関わる救命処置、救急手当について理解し、問題を解くことができる。)	⑪ (1/17)	【到達目標】 サロンで実際に使う骨や筋肉の名前と位置を正確に答えることができる。
④ (10/25)	【到達目標】 運動生理学(運動が身体に与える影響について理解し、問題を解くことができる。) エステティック機器学(エステティック機器の種類と原理について理解し、問題を解くことができる。)	⑫ (1/24)	【到達目標】 美容に効果のある食材や栄養素、調理法などを理解し、自分のおすすめの美容のための料理を考えて発表することができる。
⑤ (11/1)	【到達目標】 化粧品学(化粧品の成分と特徴、フェイシャル化粧品、ボディ化粧品、ネイル化粧品の特性を理解し、問題を解くことができる。) 関連法規(特定商取引、割賦販売法、衛生法規などエステティックに関わりの深い法律について理解し、問題を解くことができる。)	⑬ (1/31)	【到達目標】 シミ、シワ、たるみ、ニキビや紫外線の影響など、肌の悩みやトラブルについて、自分が特に興味を持ったものについて調べなおす。悩みを持つ人に対して、原因や対処法などについてわかりやすく説明するためのパンフレットを作成することができる。
⑥ (11/15)	【到達目標】 衛生管理(消毒法、感染症、公衆衛生についての基本を理解し、問題を解くことができる。) エステティック概論(エステティシャンとしての心構え、エステティックの分類や歴史、スキータッチの重要性について理解し、問題を解くことができる。)	⑭ (2/7)	【到達目標】 第13回の授業で作成したパンフレットをクラスで共有し、発表できる。どのような点に注意して説明したらよいのか、そのポイントを理解することができる。
⑦ (11/22)	【到達目標】 まとめ(まとめの問題を解くことを通じて、苦手分野を認識してその分野への理解を深めることができる。)	⑮ (2/14)	【定期試験】50 全14回全ての内容から出題。
⑧ (12/6)	【到達目標】 模試(全範囲を通しての模試を実施し、6~7割正解することができる。)	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

Ajesthe問題集の予復習を毎週必ず実施すること。

講義シラバス

科目名	美スタイル塾	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	トータルビューティ科			コース		学年	2年生		
講師名	当瀬あさ子	講師 プロフィール	全国344店舗展開 株式会社GENKIDO 北海道東北エリアマネージャー/テクニカルマネージャー 美容と健康のトータルビューティーサロンFagun Raxiaの運営・整骨院運営管理 アロマエステ、フェイシャル、ボディメイク、リラクゼーション、整骨院では自費メニューの整体、テクニカル指導及び運営マネジメントをしております。						
【授業を通じての到達目標】									
美スタイルを身につけ、自分自身のボディメイクを習得する。									
【学習内容】									
人間が生きていく上で必要な 食事、運動、呼吸、精神活動のバランスを学び、心と体を健康にキレイになっていくことを授業を通じて習得。正しいカラダの使い方から姿勢評価、エクササイズを通じてセルフ管理できることを目指す。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
タオル・靴・フェイスガード、運動時はマット、ストレッチポール、使用参考プリントは都度配布致します。					定期的な課題、予習・復習				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/17)	【到達目標】 筋肉の役割と衰えを理解し危険サインを理解する				⑨ (12/6)	【到達目標】 ストレッチポールを使い、肩こり予防 ストレッチができるようになる			
② (10/4)	【到達目標】 健康なカラダでいるための筋肉ケアの習得 足〜ふくらはぎ				⑩ (12/13)	【到達目標】 足のむくみ予防 ストレッチができるようになる			
③ (10/11)	【到達目標】 健康なカラダでいるための筋肉ケアの習得 腰・臀部・大腿部				⑪ (12/20)	【到達目標】 足のむくみ予防 ストレッチができるようになる			
④ (10/18)	【到達目標】 健康なカラダでいるための筋肉ケアの習得 腰・臀部・大腿部				⑫ (1/17)	【到達目標】 セルフ姿勢チェック、予防対策計画が立てられるようになる			
⑤ (10/25)	【到達目標】 姿勢セルフ検査、経過チェックと筋肉ケア首・肩・背中が出来るようになる				⑬ (1/24)	【到達目標】 キレイな座位姿勢、立位姿勢を習得する			
⑥ (11/1)	【到達目標】 腰痛予防 ストレッチができるようになる				⑭ (1/31)	【到達目標】 4S総括 姿勢セルフチェック発表を自分プロデュースができるようになる			
⑦ (11/15)	【到達目標】 腰痛予防 ストレッチができるようになる				⑮ (2/7)	【定期試験】50 定期試験			
⑧ (11/22)	【到達目標】 ストレッチポールを使い、肩こり予防 ストレッチができるようになる				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
授業出席態度、遅刻の厳重管理と指導、忘れ物、授業態度の指導									

講義シラバス

科目名	フェイシャル演習Ⅱ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生		
講師名	藤村 麗	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校卒業。CIDESCOインターナショナルエステティシャン。エステティックの実務を10年。フェイシャルトリートメント/ボディトリートメント/各トリートメントメニューの作成/脱毛/カウンセラーを行ってまいりました。実際の現場で通用するスキルを皆さんに身につけてもらえるように努めます。						

【授業を通じての到達目標】

技術力・知識を向上してAjesthe上級試験に合格出来るようになる。

【学習内容】

フェイシャルエステの基本手技、実技授業(フェイシャルエステの一連の流れ・コンサルテーションなど)

【使用教科書・教材・参考図書】

プリント、エステ教材一式(教科書含む)、タイマー

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (9/21)	シラバス・スケジュールの確認、クレンジングの復習、ディープクレンジング(ブラシクレンジング、角質除去各種、スチーマー)の目的効果・禁忌事項・留意点を理解し、施術が出来るようになる。(小テスト1)	⑨ (12/7)	モデリングパックの成分効果を理解して、パック中にフットマッサージ出来るようになる。(小テスト8)
② (9/28)	マッサージの復習、ディープクレンジング(角質除去各種、スチーマー、エレクトロクレンジング)の目的効果・禁忌事項・留意点を理解し、施術が出来るようになる。(小テスト2)	⑩ (12/14)	ホイップパックの成分効果を理解して、パック中にフットマッサージ出来るようになる。(小テスト9)
③ (10/5)	マッサージの復習、電気機器(イオンフォレーゼ、バター)の目的効果・禁忌事項・留意点を理解し、施術が出来るようになる。(小テスト3)	⑪ (12/21)	ホイップパックの成分効果を理解して、パック中にハンドマッサージ出来るようになる。(小テスト10)
④ (10/12)	10/26実施のAjesthe上級試験に向けて、クレンジング10分、シート記入30分、ディープクレンジング10分、電気機器15分が時間内で出来るようになる。(小テスト4)	⑫ (1/18)	さまざまな化粧品を使い、トリートメントプランを構成し、施術が出来るようになる。①
⑤ (10/19)	10/26実施のAjesthe上級試験に向けて、クレンジング10分、シート記入30分、ディープクレンジング10分、電気機器15分、マッサージ20分、パック15分の中で各自苦手な箇所を克服し、時間内で出来るようになる。(小テスト5)	⑬ (1/25)	さまざまな化粧品を使い、トリートメントプランを構成し、施術が出来るようになる。②
⑥ (10/26)	Ajesthe上級試験実施。	⑭ (2/1)	さまざまな化粧品を使い、トリートメントプランを構成し、施術が出来るようになる。③
⑦ (11/2)	モデリングパックの成分効果を理解し、パック中にデコルテマッサージが出来るようになる。(小テスト6)	⑮ (2/8)	【定期試験】50 実技 50点 ・今までに使用した化粧品を使い、相モデルで肌・お悩みに合ったトリートメントプランの構成、施術を行う。
⑧ (11/16)	モデリングパックの成分効果を理解して、パック中にデコルテマッサージが出来るようになる。(小テスト7)	【成績評価の方法と基準】	

【履修に当たっての心構え・留意点】

●小テスト50点/定期試験50点
●評価
A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点)
E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)
●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

講義シラバス

科目名	キャリア開発	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生		
講師名	高木 佳子	講師 プロフィール	大手化粧品メーカーに22年間在籍し、美容マネージャーなどを歴任。接客・社員教育などで寄与。その後、北海道の化粧品メーカー役員として、商品企画制度や社員育成研修制度などを確立し、アメリカにてハリウッドエアーの資格を取得。マナーOJTインストラクターや化粧品検定コスメコンシェルジュを取得後、現在は心とお肌の健康をテーマにサロンを自営すると共に、企業研修や高校での模範面接などを担当。札幌ベルエポックでは、接客、マナー、化粧品検定、エアブラシメイク等の授業を担当。						
【授業を通じての到達目標】									
社会人に求められるコミュニケーションマナーと社会人としての自覚を身につける 社会人に必要な「社会人基礎力」を身につける									
【学習内容】									
仕事に必要な意識の理解し、ソーシャルマナーを身につける 今までの学習をベースに、キャリアプランニングの重要性と社会人として求められることを理解し、社会人基礎力を高める 自身の目指す業種(エステ)に求められていることは何か。そのためには何が必要かを考え、社会人となる準備に繋げる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ノート ・ 筆記用具 ・ 新会人の基礎力109									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/27)	【到達目標】 キャリア開発を学ぶ意義を理解する 接客者として、好感の持たれる挨拶ができるようになる				⑨ (12/6)	【到達目標】 組織内のコミュニケーションを考え、コミュニケーションに必要な力について理解できるようになる			
② (10/4)	【到達目標】 学生と社会人の違いを考える 社会人に求められていることを理解できるようになる				⑩ (12/13)	【到達目標】 キャリアプラン・キャリアビジョンを理解し、自身のキャリアデザインについて実践できるようになる			
③ (10/11)	【到達目標】 社会人に必要な「社会人基礎力」 自己分析・自身の強みをアピールできるポイントを理解できるようになる				⑪ (12/20)	【到達目標】 レジリエンスを高め、ポジティブシンキングを身につけるようになる			
④ (10/18)	【到達目標】 社会人に必要な能力について学び、自分の能力を伸ばすための実践方法を考えることができるようになる				⑫ (1/17)	【到達目標】 自身の意見をしっかりと伝える方法を実践できるようになる			
⑤ (10/25)	【到達目標】 コミュニケーションマナーとOSS原則を理解し、魅力を高め必要とされる人材になることを理解できるようになる				⑬ (1/24)	【到達目標】 効果的なプレゼンテーションについて理解できるようになる			
⑥ (11/1)	【到達目標】 印象アップのための服装、ヘアスタイルが実践できるようになる				⑭ (1/31)	【到達目標】 アクティブリスニングを理解し、コミュニケーションを高めることを理解する			
⑦ (11/15)	【到達目標】 言葉遣いで印象を変えよう 印象アップのための話し方・表現力の実践ができるようになる				⑮ (2/7)	【定期試験】50 社会人基礎力、自己アピール、コミュニケーション力 これまでの授業で身につけた知識をペーパーテストで確認			
⑧ (11/22)	【到達目標】 人と接する時のマナーのコツを身につけよう 社内・お客様と関係を築くための方法と効果について、理解できるようになる				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物、授業受講姿勢についての指導 必要項目は、メモを取る									

講義シラバス

科目名	リゾートスパトリートメント	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	45	時間	
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生				
講師名	棚村 弘恵	講師 プロフィール	エステサロンの実務を10年講師を18年携わってきました。サロンではフェイシャル・ボディトリートメントを含めアロマセラピー、バリニースマッサージ、タラソセラピーなどニーズにお応えしたトリートメントを行なってまいりました。皆さんにわかりやすく今まで以上に美容を								
【授業を通じての到達目標】											
リゾートスパ(リゾート地でトリートメントやサービスを提供する施設)で行われる様々なトリートメントを習得する。 施術のニーズ・バリエーション・施設のクオリティーを習得して知識を活かしたエステティシャンを目指す。 スキルアップ・レベルアップを図り現場力/即戦力につなげる。											
【学習内容】											
リゾートスパの種類や用語・意味効果・豊富なトリートメントテクニックを習得する リゾートスパ利用層やトリートメントに期待すること求められていることは何かを学び理解してスキルアップにつなげる											
【使用教科書・教材・参考図書】						【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
指定教材/筆記用具/シラバス											
日時	授業計画					日時	授業計画				
① 9/21	【到達目標】 (オリエンテーション) 今後の予定を確認する/トリートメントの種類・効果を知得する (リンパマッサージ・タラソセラピー・ロミロミ・バリニースなど)					⑨ 12/7	【到達目標】 タラソセラピー効果効能②(座学/実習) (どのようなクライアントに効果があるのかなどを知得して説明ができるようになる)※リンパ/血液循環の再確認				
② 9/28	【到達目標】 リンパマッサージ効果効能①(座学/実習) (どのようなクライアントに効果があるのかなどを知得して説明ができるようになる)※リンパ/血液循環の再確認					⑩ 12/14	【到達目標】 タラソセラピー効果効能③(座学/実習) (どのようなクライアントに効果があるのかなどを知得して説明ができるようになる)※リンパ/血液循環の再確認				
③ 10/5	【到達目標】 リンパマッサージ効果効能②(座学/実習) (どのようなクライアントに効果があるのかなどを知得して説明ができるようになる)※リンパ/血液循環の再確認					⑪ 12/21	【到達目標】 ストーンマッサージ効果効能(座学/実習) (どのようなクライアントに効果があるのかなどを知得して説明ができるようになる)※リンパ/血液循環の再確認				
④ 10/12	【到達目標】 バリニースマッサージ効果効能①(座学/実習) (どのようなクライアントに効果があるのかなどを知得して説明ができるようになる)※リンパ/血液循環の再確認					⑫ 1/18	【到達目標】 リンパマッサージ/バリニース/ロミロミ/タラソセラピー/ストーン マッサージを組み合わせてトリートメントを行う① 説明含む				
⑤ 10/19	【到達目標】 バリニースマッサージ効果効能②(座学/実習) (どのようなクライアントに効果があるのかなどを知得して説明ができるようになる)※リンパ/血液循環の再確認					⑬ 1/25	【到達目標】 リンパマッサージ/バリニース/ロミロミ/タラソセラピー/ストーン マッサージを組み合わせてトリートメントを行う② 説明含む				
⑥ 10/26	【到達目標】 ロミロミマッサージ効果効能①(座学/実習) (どのようなクライアントに効果があるのかなどを知得して説明ができるようになる)※リンパ/血液循環の再確認					⑭ 2/1	【到達目標】 リンパマッサージ/バリニース/ロミロミ/タラソセラピー/ストーン マッサージを組み合わせてトリートメントを行う③ 説明含む				
⑦ 11/2	【到達目標】 ロミロミマッサージ効果効能②(座学/実習) (どのようなクライアントに効果があるのかなどを知得して説明ができるようになる)※リンパ/血液循環の再確認					⑮ 2/8	【定期試験】50 リンパマッサージ/バリニース/ロミロミ/タラソセラピー/ストーン マッサージをお悩みに合わせてトリートメントを考案する 説明含む				
⑧ 11/16	【到達目標】 タラソセラピー効果効能①(座学/実習) (どのようなクライアントに効果があるのかなどを知得して説明ができるようになる)※リンパ/血液循環の再確認 ヒートマット/遠赤外線の効果を知り使用できるようになる					【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法					

講義シラバス

科目名	イベントプランニング	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ファッションコース	学年	2年生		
講師名	阿部 弘(菊地 真樹子)	講師 プロフィール	●阿部 弘 2001年から色彩の専門家としてカラーコーディネートを指導。自身のアパレル専門店運営と会社経営のプロとして現在に至る。1級色彩コーディネーター。 ●菊地 真樹子 2000～2019 (株)リアライズ-オウにて空間デザイン、イベントプロデュースを担当。2019年11月独立しVMDをベースとした商業ディスプレイとイベント企画等を行う。1級商品装飾技能士						
【授業を通じての到達目標】									
11月実施のファッションビジネス検定合格とイベント企画プロデュースの方法や立ち上げを習得する。									
【学習内容】									
11月実施のファッションビジネス検定3級の学習で幅広く業界を知り、その後演習により実際のイベント企画を体験する。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
テキスト ファッションビジネス【I】 ファッションビジネス検定3級問題集									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/27)	【到達目標】ファッションビジネス全体の基本を知る 第6章 ファッション流通 1.流通 2.ファッション小売企業の仕組みと義務 第7章 ビジネス基礎知識 1.会社に関する基礎知識				⑨ (12/6)	【到達目標】企画書を作れるようになる ●アパレル展示会を企画・プロデュースする 1.テーマ・コンセプト・企画概要を決める□ 2.企画書を作る □ □			
② (10/4)	【到達目標】ファッションビジネス全体の基本を知る 第7章 ビジネス基礎知識 2.企業の組織 3.企業会計 4.計数知識				⑩ (12/13)	【到達目標】展示イメージをビジュアル化できるようになる ●展示会を企画・プロデュースする 3.展示イメージをつくる□ □ □			
③ (10/11)	【到達目標】ファッションビジネス全体の基本を知る ファッション造形知識【1】 第1章 デザインの定義と特性 第2章 ファッションコーディネーション 1.コーディネーションの基礎知識 2.ファッションスタイリング 3.ファッション企業のスタイリング				⑪ (12/20)	【到達目標】関係者とのコミュニケーションをとる ●展示会を企画・プロデュースする 4.展示に関わる人に依頼をする ・商品の手配、ビジュアルの手配、マネキンや什器の手配 □ □			
④ (10/18)	【到達目標】ファッションビジネス全体の基本を知る 第3章 ファッション商品知識 1.アパレル商品知識【服種・アイテム】 2.シルエットの知識 3.ディテールの知識 4.サイズの知識 5.繊維の知識				⑫ (1/17)	【到達目標】集客方法を知る ●展示会を企画・プロデュースする 5.集客をする□ □ □			
⑤ (10/25)	【到達目標】検定対策 ファッションビジネス検定3級演習問題と解説①				⑬ (1/24)	【到達目標】展示会場の作り方を知る ●展示会を企画・プロデュースする 6.展示会場を作る□ □ □			
⑥ (11/1)	【到達目標】検定対策 ファッションビジネス検定3級演習問題と解説①				⑭ (1/31)	【到達目標】展示会を体験する ●展示会を企画・プロデュースする 7.展示会を開く□ □ □			
⑦ (11/15)	【到達目標】検定対策 ファッションビジネス検定3級演習問題と解説①				⑮ (2/7)	【定期試験】50 ●展示会を企画・プロデュースする 展示会開催の企画書をプレゼンテーションする□ □ □			
⑧ (11/22)	【到達目標】ファッションビジネス全体の総まとめ アパレル経営者としての基本知識と総まとめ				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	店舗販売実習	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	90 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ファッションコース	学年	2年生		
講師名	小森郁子	講師 プロフィール	<small>(株)きりあき入社代表、マネージャー、ディレクターを経て、現在(株)antレーナーとして社内の新人、中堅、店長、マネージャー研修担当としてLJTでのコーチングを行う。</small>						
【授業を通じての到達目標】									
アパレルの販売手法を習得する									
【学習内容】									
お客様購買心理8段階に沿った店舗運営、接客体験を実習とした集大成									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ファッションビジネス・ファッション販売・筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (/)	【到達目標】 お店作りを人・物・器で考える力を習得する				⑨ (/)	【到達目標】 お客様購買心理に沿った接客について習得する			
② (/)	【到達目標】 お店作り、バイヤー体験を通して職業を理解する				⑩ (/)	【到達目標】 お客様購買心理に沿った接客について習得する			
③ (/)	【到達目標】 お店作りを人・物・器で考える力を習得する				⑪ (/)	【到達目標】 接客体験学習を通して今後の課題を見つけ、まとめることができるようになる			
④ (/)	【到達目標】 お店作り、バイヤー体験を通して職業を理解する				⑫ (/)	【到達目標】 接客体験学習を通して今後の課題を見つけ、まとめることができるようになる			
⑤ (/)	【到達目標】 接客体験学習を通し今後の課題を見つけ、レポートにまとめることができるようになる				⑬ (/)	【到達目標】 社会人としてのアパレルの仕事の習得			
⑥ (/)	【到達目標】 接客体験学習を通し今後の課題を見つけ、レポートにまとめることができるようになる				⑭ (/)	【到達目標】 社会人としてのアパレルの仕事の習得			
⑦ (/)	【到達目標】 お客様購買心理に沿った接客について習得する				⑮ (/)	【定期試験】50 筆記試験			
⑧ (/)	【到達目標】 お客様購買心理に沿った接客について習得する				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

講義シラバス

科目名	ブランド撮影メイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科			コース	メイクコース	学年	2年生		
講師名	若杉 晴香	講師 プロフィール	札幌ベルエポックTB科7期卒業。MACにてBA経験を積み、化粧品の販売接客、メイクアップの経験を積む。退職後フリーランスでヘアメイクに転身し、ブライダルを中心としたヘアメイクの活動をしている。化粧品検定1級、コスメコンシェルジュの資格を保有し、多くの化粧品の知識を持つ。						

【授業を通じての到達目標】

前期までのメイク技術と知識を生かし、応用的なメイクアップができるようになる。学びの集大成として撮影を実施する。

【学習内容】

様々なブランドのコスメを使用して応用的なメイクを学ぶ。シーンに合わせたメイクアップ、デイリー以外のメイクテクニックなどを含めた幅広いジャンルのメイク技術を学ぶ。

【使用教科書・教材・参考図書】

メイク道具一式、個人配布教材、筆記用具、iPad

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (9/30)	授業の内容と目的確認。ウエットのスポンジを使用したツヤ肌作りができるようになる。ベースメイク前の保湿方法から学び、潤いのあるベースメイクができるようになる。	⑨ (12/9)	ホリデーシーズンメイク。2021ホリデー製品をリサーチし、各ブランドのイメージルックを再現することができる。
② (10/7)	ファンデーションブラシを使用したベースづくりとコントアリングメイクの習得。より立体的なベースメイクができるようになる。	⑩ (12/16)	洋服に合わせたパーティメイク。結婚式参列を想定し、身だしなみのマナーを学ぶ。服装、場所にあったメイクの提案とフルメイクでのタッチアップができるようになる。
③ (10/14)	スモーキーの作り方。ペンシルベースでのスモーキーアイの技術を習得する。アイフォーカスのメイクルックで提案とフルメイクアップができるようになる。	⑪ (12/23)	和装メイク。和装メイクのポイントを知り、成人式の振袖に合わせたメイクのご提案ができるようになる。
④ (10/21)	カラーラインメイク。トレンドのカラーラインを取り入れたメイク方法を学ぶ。アイラインに合わせたアイシャドウの色選びやメイク全体のカラーバランスを考えた提案ができるようになる。	⑫ (1/20)	グループワーク。定期試験の卒業制作に向け、テーマを決めてヘアメイクを考える。
⑤ (10/28)	リップフォーカスのメイク。トレンドのリキッドリップを使用し、リップを引き立てるメイクルックを考えフルメイクができるようになる。	⑬ (1/27)	グループごとにテーマに合わせたヘアメイク練習。撮影メイクのポイントを学ぶ。
⑥ (11/4)	クリームチーク、リキッドチークを使用したメイク。様々なテクスチャーの製品を使いこなし使い方の説明ができる。チークに合わせたメイクの提案とフルメイクができるようになる。	⑭ (2/3)	撮影のイメージや構成をまとめる。セルフ撮影で練習する。
⑦ (11/18)	テーマカラー別メイク。イメージや肌色にあったカラーでワントーンのメイクをフルメイクができるようになる。	⑮ (2/10)	【定期試験】50 グループごとにテーマに合わせた作品撮りを行う。プロのカメラマンに撮影してもらい、作品を作る。
⑧ (11/25)	【到達目標】 ブランドイメージメイク。ブランドコスメを使用して各ブランドイメージに合ったメイクルックを考えフルメイクができるようになる。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

美容業はお客様のお手本となり常に見られる職業であることから、授業中の姿勢や笑顔、立ち居振る舞い、言葉遣いを心掛ける。忘れ物は小テストよりマイナスとする。また、相モデル練習の際に迷惑、危険を及ぼす可能性のあるスカルブペーパーやまつエクはご遠慮ください。コロナウイルス感染防止対策において衛生管理の徹底をすること。

講義シラバス

科目名	オーガニック・フレグランス	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース	メイクコース	学年	2年生		
講師名	大槻 亜由美	講師 プロフィール	短大卒業後、国産化粧品会社に入社。ビューティーコンサルタントとして百貨店で勤務。退職後、市内専門学校で講師として勤務。スキンケア授業を担当。現在は国産スキンケア化粧品会社で商品研修担当として勤務している。						
【授業を通じての到達目標】									
近年お客様ニーズが高まっているオーガニック化粧品を理解する。ブランド、効果、業界動向を肌実感を通して理解しBAの現場で役立てられるようになる。フレグランスの歴史、各ブランドのフレグランスの種類、ボディケアアイテム、業界動向を理解する。									
【学習内容】									
①オーガニック化粧品(スキンケア・ベース・メイク)の情報収集、外部実習、肌実感、プレゼンテーション②フレグランスの情報収集、外部実習、肌実感、プレゼンテーション									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
筆記用具・ノート・コットン・ティッシュ・ミラー・スパチュラ・エタノール・スポンジ・パフ・ブラシ類									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/30)	【到達目標】 オーガニック化粧品の定義を理解する。海外と日本のオーガニック化粧品と市場、お客様ニーズを知り、次週からの授業をイメージする				⑨ (12/9)	【到達目標】 フレグランスの基礎知識を理解する。国産ブランドのフレグランスを知る。			
② (10/7)	【到達目標】 外部実習(商品購入)の為の商品リサーチを行う。オーガニックブランドを知り、各ブランドの特徴を理解の上でスキンケア・ベース・メイク商品のリサーチを各自行う				⑩ (12/16)	【到達目標】 外資ブランドのフレグランスや関連アイテムを理解する			
③ (10/14)	【到達目標】 外部実習(商品購入)の為のグループディスカッション。各自でリサーチしたアイテムをプレゼン、ディスカッションしアイテムを決定する。				⑪ (12/23)	【到達目標】 外資ブランドのフレグランスや関連アイテムを理解する			
④ (10/21)	【到達目標】 外部実習。商品購入。積極的に接客受けオーガニックコスメに対しての知識を深める。				⑫ (1/20)	【到達目標】 外部実習ディスカッション。商品購入アイテムをディスカッションにより決定する			
⑤ (10/28)	【到達目標】 オーガニックスキンケア実習。商品詳細リサーチ、肌実感、ご紹介話法作成、タッチアップを行える				⑬ (1/27)	【到達目標】 外部実習。商品購入。積極的に接客を受けフレグランスの知識を深める。			
⑥ (11/4)	【到達目標】 オーガニックベースアイテム、メイクアイテム実習。商品詳細リサーチ、各自肌実感、お客様への魅力的なプレゼン法、タッチアップ法を考え、行うことができる				⑭ (2/3)	【到達目標】 フレグランス実習。各自アイテムを使用し定期試験時に魅力的なプレゼンを行う準備をする。			
⑦ (11/18)	【到達目標】 オーガニックコスメプレゼン資料作成。6週で学び、得た知識と商品情報のプレゼンを行う為の資料作成を行う				⑮ (2/10)	【定期試験】50 フレグランスプレゼンテーション。各自が得た知識、各ブランド、アイテムのストーリー、使用しての感想などフレグランスを魅力的にプレゼンすることができる			
⑧ (11/25)	【到達目標】 オーガニックコスメプレゼンテーション。各自が得た知識、使用しての感想や効果などオーガニックコスメを魅力的にプレゼンすることができる				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】 積極的にリサーチ、ディスカッション、プレゼンを行う					●小テスト50点/定期試験50点				
					●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)				
					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

講義シラバス

科目名	セルフスタイリング	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科			コース	メイクコース	演習	2年生		
講師名	アトリエ/宍戸	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、プライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが14名所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
自分を魅せるヘアアレンジとメイクテクニックをトータルで身に付ける事が出来るようになる。									
【学習内容】									
就職活動にも活かせるヘアアレンジ・メイクをセルフ・相モデルで出来るようになる。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘア・メイク道具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
⑯ (9/21)	【到達目標】 オリエンテーション・科目の必要性を理解する。 ヘアメイクデモを見る・コンセプトシートの描き方を学ぶ。				⑳ (12/7)	【到達目標】 清楚系のヘアメイクを画像検索し、相モデルで仕上げる事が出来る。			
⑰ (9/28)	【到達目標】 好きなヘアメイクを画像検索し、セルフで仕上げる事が出来る。				㉑ (12/14)	【到達目標】 目指しているブランドのトレンドを意識し、接客を想定しヘアメイクを仕上げる事が出来る。			
⑱ (10/5)	【到達目標】 好きなヘアメイクを画像検索し、セルフで仕上げる事が出来る。				㉒ (12/21)	【到達目標】 目指しているブランドのトレンドを意識し、接客を想定しヘアメイクを仕上げる事が出来る。			
㉓ (10/12)	【到達目標】 モード系のヘアメイクを画像検索し、相モデルで仕上げる事が出来る。				㉓ (1/18)	【到達目標】 目指しているブランドを意識し、店頭に立つ事を想定してセルフヘアメイクを仕上げる事が出来る。			
㉔ (10/19)	【到達目標】 キュート系のヘアメイクを画像検索し、相モデルで仕上げる事が出来る。				㉔ (1/25)	【到達目標】 目指しているブランドを意識し、店頭に立つ事を想定してセルフヘアメイクを仕上げる事が出来る。			
㉕ (10/26)	【到達目標】 韓国系のヘアメイクを画像検索し、相モデルで仕上げる事が出来る。				㉕ (2/2)	【到達目標】 定期テストに向けて企画を作成し、グループで練習する事が出来る。			
㉖ (11/2)	【到達目標】 エレガント系のヘアメイクを画像検索し、相モデルで仕上げる事が出来る。				㉖ (2/8)	【定期試験】50 チームで考えた企画書を基に接客を意識しながらヘアメイクを仕上げ、プレゼンする事が出来るようになる。			
㉗ (11/16)	【到達目標】 4点 秋冬モード系のヘアメイクを画像検索し、相モデルで仕上げる事が出来る。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	接客メイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科			コース	メイクコース	学年	2年生		
講師名	浅沼 和恵	講師 プロフィール	国産化粧品ブランドと外資系商品ブランドでBAとして経験を積み、札幌ベルエポック開校時よりBAに直結した授業を担当。現在も現役BAとして活動している。						
【授業を通じての到達目標】									
接客力の集大成の授業として、接客ロールプレイの実践から自ら考え行動できる即戦力となるスキルを習得する。コロナ禍での環境に対応した接客技術を習得する。									
【学習内容】									
様々な接客シーンを想定した接客ロールプレイ、商品の提案・プレゼンテーションを学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/21)	【到達目標】 お客様目線自身が目指す接客を考える。 お客様へのお声がけから来店目的を伺う。コミュニケーション作りの練習。				⑨ (12/7)	【到達目標】 テーマ・・・リップをお求めのお客様にファンデーションの紹介ができる。 (季節・肌悩み・FDの特徴から切り出しトークを考える)			
② (9/28)	【到達目標】 コロナ禍でお客様にタッチアップをしない「指導型メイク」を習得する。 ①(ファンデーション)				⑩ (12/14)	【到達目標】 年代別メイク・・・40代以降の顔立ちの変化、肌の変化を理解し解決方法を習得する。			
③ (10/5)	コロナ禍でお客様にタッチアップをしない「指導型メイク」を習得する。 ②(アイシャドウ)				⑪ (12/21)	【到達目標】 年代別メイク・・・40代以降の肌悩みに合わせたメイク提案ができるようになる。			
④ (10/12)	【到達目標】 テーマ・・・リップを探している方の接客できる。 (お声がけ～来店目的～カウンセリング～色の提案)				⑫ (1/18)	【到達目標】 年代別メイク・・・20代・30代のお客様をターゲットにしたメイク提案ができる。 (トレンドを取り入れる)			
⑤ (10/19)	【到達目標】 テーマ・・・自分に似合う色のアイシャドウを探している方の接客できる。 (カウンセリング～商品提案～タッチアップ～クロージング)				⑬ (1/25)	【到達目標】 季節別プロモーションの企画を作る。 (季節ごとの環境の変化による肌トラブルと対策を理解する)			
⑥ (10/26)	【到達目標】 テーマ・・・チークを探している方の接客できる。 (カウンセリング～商品提案～タッチアップ～クロージング)				⑭ (2/1)	【到達目標】 季節のトラブルに合わせたベースメイクと季節感を演出したポイントメイクを提案する。 (発表準備)			
⑦ (11/2)	【到達目標】 テーマ・・・ファンデーションを探している方を接客できる。 (カウンセリング～商品提案～タッチアップ～クロージング)				⑮ (2/8)	【定期試験】50 季節に合わせたプロモーションを企画しお客様へ魅力的に提案できるようになる。 (季節に合ったベースメイク・ポイントメイクをお客様へご紹介するロープシで発表)			
⑧ (11/16)	【到達目標】 テーマ・・・お客様の指名アイテムに合わせた関連アイテムを一括で紹介できる。 (関連販売)				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
姿勢・所作・言葉遣いを常に意識する。忘れ物の管理不十分者は小テストから減点する。									

講義シラバス

科目名	ネイル検定演習Ⅲ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ネイルコース	演習	2年生		
講師名	大窪史子	講師 プロフィール	日本ネイリスト協会本部認定講師 2011年ネイルアトリエmipcoipをオープン、サロンワーク・ネイル技術指導のほか、コンテスト審査、検定審査、セミナー講師、ネイルエキスポやビューティワールドジャパンなどのネイルブースでの技術デモを行うなど、活動の幅を広げている						

【授業を通じての到達目標】

トップレベルの総合プロネイリストとして通用するレベルのイクステンション技術を身につける。
 アクリルを用いた様々なイクステンションのバリエーションを学び、効率よく仕上げるができるようになる。

【学習内容】

ナチュラル、フレンチ、デザイン、パーチャル、長さ出しなどの、アクリルを用いた様々なイクステンションテクニックを学ぶ。

【使用教科書・教材・参考図書】

ネイル教材一式、筆記用具、JNAテクニカルシステムベーシック、ノート

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

検定試験に向けた自主練習・筆記演習

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/21)	【到達目標】 検定アートのデザインを決定し、時間内に仕上げるができるようになる。	⑨ (12/7)	【到達目標】 デザインスカルプチュアのバリエーションを学び、完成度の高い仕上がりにできるようになる。
② (9/28)	【到達目標】 アートを含む全実技工程の流れを確認し、スムーズに施術することができるようになる。	⑩ (12/14)	【到達目標】 デザインスカルプチュアのデザインを考え、装着することができるようになる。
③ (10/5)	【到達目標】 検定実技工程を練習し、完成度を上げる。 時間内に統一感のある仕上がりにすることができるようになる。	⑪ (12/21)	【到達目標】 アクリルによる長さだし+ジェルデザインを施すことができるようになる。
④ (10/12)	【到達目標】 検定に向け、最終チェック。 検定実技工程を、安定感のある施術で時間内に仕上げるができるようになる。	⑫ (1/18)	【到達目標】 アクリルの特性を活かした長さだし+ジェルアートのデザインを考え、装着できるようになる。
⑤ (10/19)	【到達目標】 アプリケーション～ファイリングまでを練習し、フレンチスカルプチュアを完成させることができるようになる。	⑬ (1/25)	【到達目標】 これまでに学んだ技法を用いてイクステンションを装着する。 サロンワークを想定し、統一感重視で時間内に仕上げるができるようになる。
⑥ (10/26)	【到達目標】 パーチャル技法を学び、パーチャルフレンチスカルプチュアの装着ができるようになる。	⑭ (2/1)	【到達目標】 定期試験で装着するデザインを考える。 試作しながら、より良いデザインを完成させる。
⑦ (11/2)	【到達目標】 異なるカットスタイル・手法のフレンチスカルプチュアの構造を理解し、それぞれをスムーズに装着、完成させることができるようになる。	⑮ (2/8)	【定期試験】50 アクリルの特性を活かした長さだし+ジェルアートのデザインを装着する。

【到達目標】

⑧
(11/16)
デザインスカルプチュアのバリエーションを学び、スムーズに装着できるようになる。

【成績評価の方法と基準】

●小テスト50点/定期試験50点
 ●評価
 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)
 E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)

●評価方法

評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

【履修に当たっての心構え・留意点】

授業開始までにテーブルセッティングを済ませておく。
 施術の妨げとならないよう、顔にかかる髪はまとめる、とめる等、ヘアスタイルに留意する。

講義シラバス

科目名	フットネイル	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	トータルビューティ科			コース	ネイルコース	学年	2年生		
講師名	山本 麻美	講師 プロフィール	日本ネイリスト協会常任本部認定講師、ネイルサロンPRISM代表。 検定試験官の経験とコンテストでの優勝、上位入賞経験を生かし、15年以上に渡りネイリストの育成と教育に携わる。 ネイリスト歴21年。福祉ネイリスト資格を取得し福祉分野にも携わる。						

【授業を通じての到達目標】

フットケア、フットジェルの消毒管理を意識し安全な施術が出来るように技術を習得、アフターケアのアドバイスを身につける

【学習内容】

フットケア(マシンを含む)フットジェル技術の習得

【使用教科書・教材・参考図書】

ケア用品、ウラワピットset、ピニール袋、ジェルネイル教材一式、キッチンペーパー、コットン、タオル、アルミホイル

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/30)	【到達目標】 ※9/23→12/23 フットケアについての説明・練習 フットバスの使用方法、手入れなど 【ハンドとの違いを理解出来るようになる】	⑨ (12/9)	【到達目標】 フットジェルアートの練習・カウンセリングの説明 カウンセリング～アートまで 【フットジェル、アートが出来るようになる】
② (10/7)	【到達目標】 角質除去の説明・練習 フットパドルでの角質除去、アフターケアの説明 【角質除去が出来るようになり、アフターケアの説明も出来るようになる】	⑩ (12/16)	【到達目標】 フット用アートサンプルの作成 【定期試験でアートサンプルとして使用出来るものが作れるようになる】
③ (10/14)	【到達目標】 ケア～アートまで練習 【スムーズに施術が出来るようになる】	⑪ (12/23)	【到達目標】 フット用アートサンプルの作成 台紙などに貼り、見やすくする 【綺麗に見やすく提案出来るように作成】
④ (10/21)	【到達目標】 マシンを使用し角質除去の練習 ピットの説明・洗浄方法についての説明 【お客様に恐怖心を与えない様に声掛けを心得る・マシンの知識を身につける】	⑫ (1/20)	【到達目標】 角質除去の復習、セッティング、カウンセリング、アフターケア 【カウンセリング、アフターケアの説明が出来ているか・角質除去を覚えているか確認】
⑤ (10/28)	【到達目標】 セッティング～アートまで練習 マシンを使用したケアの説明、角質除去 【正しく使用し、フットケアの技術を身につける】	⑬ (1/27)	【到達目標】 セッティング～アート練習 【時間を意識し手順を覚えているか確認】
⑥ (11/4)	【到達目標】 ケア、ジェルワンカラーの練習 【ジェルカラーリングが綺麗に出来るようになる】	⑭ (2/3)	【到達目標】 セッティング～アート練習 【時間内に出来るようになる】
⑦ (11/18)	【到達目標】 ジェルオフの練習 【ファイルとマシンでのオフの方法を習得】	⑮ (2/10)	【定期試験】 セッティング～アート 【綺麗に時間内にスムーズに実施する】

⑧
(11/25)
【到達目標】
フット用アートの練習
【フット用にチップの長さを整えハンドとの違いを理解出来るようになる】

【成績評価の方法と基準】

- 小テスト50点/定期試験50点
- 評価
A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)
E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)

●評価方法
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

【履修に当たっての心構え・留意点】

講義シラバス

科目名	接客ネイル	必修 選択の別	開講 区分	4S	授業 形態	総時間数	15	時間
学科	トータルビューティ科			コース	ネイルコース	演習	2年生	
講師名	青山 美郷	講師 プロフィール	JNA1級、2021年2月現在出張ネイリスト、2021年10月プライベートサロンオープン					
【授業を通じての到達目標】								
卒業後にサロンで勤務した際に即戦力になれる人材を育てる、自分の強みを見つける、デザインの幅を広げる、サロンワークに必要な知識を身につける、実際に接客し施術と接客に慣れる、お客様の立場になって考えられるネイリストになる、施術時間の短縮。								
【学習内容】								
サロンワークトレーニング、サロンでの働き方、接客、技術トレーニング、時間を意識した施術トレーニング、ネイルチップ販売方法、トレンドデザイントレーニング、予約の取り方、クレーム対応トレーニング、面接対策								
【使用教科書・教材・参考図書】				【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
講師用意、日本ネイリスト協会、Instagram、その他ネットショップ				レポート提出の場合有り				
日時	授業計画			日時	授業計画			
① 9/30	【到達目標】 持ち物:ネイルチップ・ハンド・ジェル用具 オリエンテーション、ジェルグラデーションチップトレーニング 5本1セットを提出する			⑨ 12/9	【到達目標】 持ち物:プレバ用具・マシーン・タイマー 相モ オフ・プレバトレーニング(前回施術ネイルをオフ・2人交代で)が出来るようになる。 ※時間厳守			
	② 10/7	【到達目標】 持ち物:ノート・筆記用具 サロンワーク講習(資料講師用意)、写真からデザイン解析ができるようになる。 カラー混合トレーニング			⑩ 12/16	【到達目標】 持ち物:ジェル用具・タイマー・マシーン 相モ シンプルデザイン(オフ無し・2人交代で)が作れるようになる。 ※時間厳守		
③ 10/14		【到達目標】 持ち物:ネイルチップ・ハンド・ジェル用具 トレンドデザインチップトレーニング、カラー混合トレーニング レシビ作りができるようになる。				⑪ 12/23	【到達目標】 持ち物:マシーン・筆・ニッパー Cerejeiraにてサロン実習(ハンド・フットに分かれる) サロン実習を通して技術の確認や今後の課題を見つけることができるようになる。 ☆宿題 レポート配布	
	④ 10/21	【到達目標】 持ち物:ネイルチップ・ハンド・ジェル用具 サンプルチップ作成 5本1セットを3組提出する。 ※オリジナルカラー入れる (発表・提出)			⑫ 1/20		【到達目標】 持ち物:マシーン・筆・ニッパー Cerejeiraにてサロン実習2回目 サロン実習を通して技術の確認や今後の課題を見つけることができるようになる。	
⑤ 10/28		【到達目標】 持ち物:ジェル用具・ネイルチップ・ハンド・タイマー・マシーン 相モデル(以下相モ)1人プレサロンワーク(オフ無し・デザイン有り)が出来るようになる。 フレンチトレーニング				⑬ 1/27	【到達目標】 持ち物:筆記用具 自分の強みについて考え、見つけることができるようになる。 面接対応講習、実技面接対応講習	
	⑥ 11/4	【到達目標】 持ち物:ジェル用具・ネイルチップ・ハンド・タイマー・マシーン 相モ(前回と交代)1人プレサロンワーク(オフ無し・デザイン有り)が出来るようになる。 塗りっぱなしトレーニング			⑭ 2/3		【到達目標】 持ち物:ネイルチップ・ハンド・ジェル用具 トレンドデザインチップトレーニング トレンドデザインが考案、作成できるようになる。	
⑦ 11/18		【到達目標】 持ち物:資料講師用意・筆記用具・ネイルチップ・ハンド ネイルチップ販売方法を習得する。 トレンドデザイントレーニング				⑮ 2/10	【定期試験】 持ち物:ネイルチップ・ハンド・ジェル用具・筆記用具 ネイルチップ(10本1セットを時間内に・テーマ事前に告知)を作成できるようになる。 筆記テスト(サロンワーク)	
	⑧ 11/25	【到達目標】 持ち物:ジェル用具・タイマー・マシーン 相モプレサロンワーク(2人交代で・オフ無し・シンプルデザイン)が出来るようになる。 ※時間厳守			【成績評価の方法と基準】			
●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。								
【履修に当たっての心構え・留意点】								
ネイル道具必須、テーブルセッティングはいつも綺麗に、授業開始前にチップ								

講義シラバス

科目名	ブランド企画	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	45
学科	トータルビューティ科			コース	ファッションコース	学年	2年生		
講師名	畑 育実	講師 プロフィール	有限会社ダディックファッション代表。TV・CM・タレントのスタイリスト&ヘアメイク、企業ではイメージカウンセラーとして活動している						
【授業を通じての到達目標】									
衣装に関わるプロフェッショナルとして、FAは企画から販売までに一連の流れを知り、幅広い知識を持つ強みのある指名されるプロとしてキャリアアップの道筋を付ける、スタイリストはオリジナルブランド、商品化プロジェクトに関わるなど、インフルエンサーとしてスタイリングの総合的なプロデュース力を発揮し、クオリティーの高い卒業製作作品を完成させることができる									
【学習内容】									
卒業作品としてブランド立案と企画、スタイリングブックを製作する									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具、裁縫道具、筆記用具、のり、雑誌等									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/30)	【到達目標】小テスト3点 今後の授業内容を確認し、2年間の集大成としてモチベーション高く完成に向けて計画をたて、作り方を理解し作成することができる				⑨ (12/9)	【到達目標】小テスト4点 卒業作品のスタイリングブック製作にあたり、準備と計画書の提出により目的の確認とモチベーションを上げて取り組む事が出来る			
② (10/7)	【到達目標】小テスト3点 前回の学びから、ターゲットを設定でき、分析表を完成出来る様になる				⑩ (12/16)	【到達目標】小テスト4点 卒業作品、スタイリングブック製作。計画したスタイリング内容にそった衣装の準備とモデル選定が決定出来る			
③ (10/14)	【到達目標】小テスト3点 雑誌やSNSを活用し、情報収集力をもってイメージに合うコラージュを完成させるが出来る				⑪ (12/23)	【到達目標】小テスト4点 前回に準備した衣装とモデル選定に合わせてスタイリングし、構図を考え撮影することができる			
④ (10/21)	【到達目標】小テスト3点 前回の完成させたターゲット設定からトレンド感のある魅力的なアイテム企画を完成させることができる				⑫ (1/20)	【到達目標】小テスト4点 計画の進捗状況の確認をし、スタイリング、撮影において、問題や課題を見つけ解決に向かいより完成度の高い作品完成を目指す事が出来る			
⑤ (10/28)	【到達目標】小テスト3点 前回は完成させたアイテム企画書から、FA、スタイリストとしてリアルクローズなスタイリング提案出来るようになる				⑬ (1/27)	【到達目標】小テスト4点 計画の進捗状況の確認をし、卒業作品にふさわしい2年間の集大成のスタイリング技術の発表に向けて努力し、撮影を完了させる			
⑥ (11/4)	【到達目標】小テスト3点 企画したオリジナルブランドが、どのような店舗で販売したいのか販売戦略の観点からも理想的な店舗レイアウトを完成させることができる				⑭ (2/3)	【到達目標】小テスト4点 スタイリングブック製作に必要なファイル、ブックなどを用意し、素材写真、コラージュなどを施し、完成に向けて取り組む事が出来る			
⑦ (11/18)	【到達目標】小テスト4点 完成させたブランド企画を元に1商品サンプルを製作し撮影し、より説得力のあるオリジナルブランド企画として製作に取り組む事が出来る				⑮ (2/10)	【定期試験】50 卒業作品、スタイリングブックの完成とプレゼンテーションと振り返りを行う			
⑧ (11/25)	【到達目標】小テスト4点 卒業作品オリジナルブランド企画製作の完成し、プレゼンテーションと振り返りを行う				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)				
授業の取り組み、事前準備、管理など自主性をもって積極的に行動する					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

講義シラバス

科目名	接客エステ	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	60 時間
学科	トータルビューティ科			コース	エステコース	学年	2年生		
講師名	吉岡 愛美	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校卒業。 卒後はエステティックレイビス札幌店に入社しエステティシャンとしての経験を積む。 現在は、個人サロンジャミール シファを開業。						
【授業を通じての到達目標】									
色々な技術を学び接客、実技をマスターする。現場で通用するスキルを身につける。									
【学習内容】									
サロンでの接客、エステ全般を学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
シラバス、筆記用具、タオル、オイル									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/30)	【到達目標】 エステティシャンという職業を理解し、チームワークの大切さを学ぶ。				⑨ (12/9)	【到達目標】 お客様にホームケアアドバイスができるようになる。			
② (10/7)	【到達目標】 接客理論をマスターする。(ボディマッサージ編)				⑩ (12/16)	【到達目標】 お客様の变化を読み取り、時間内に施術ができるようになる。			
③ (10/14)	【到達目標】 前回の理論をふまえて、接客マナーを学ぶ。				⑪ (12/23)	【到達目標】 お客様が満足できる技術、接客を考え、結果を出せるようになる。			
④ (10/21)	【到達目標】 エステティシャンとしての言葉遣い、身だしなみをマスター				⑫ (1/20)	【到達目標】 自分の身だしなみをきれいにする。(ネイル)			
⑤ (10/28)	【到達目標】 お客様の気持ちを理解し、目的に合った施術メニューを提案できるようになる。				⑬ (1/27)	【到達目標】 お客様に合った技術、コースをご提案できるようになる。			
⑥ (11/4)	【到達目標】 お客様に合わせた接客できるようになる。				⑭ (2/3)	【到達目標】 苦手を克服する。目標、改善点を見つけることができるようになる。			
⑦ (11/8)	【到達目標】 お客様が満足する技術、接客を提供できるようになる。				⑮ (2/10)	【定期試験】50 定期試験を通して、振り返りエステティシャンとしての立ち振る舞い、接客、技術を提供する。			
⑧ (11/25)	【到達目標】 カウンセリングや技術を通してお客様の体調を読み取れるようになる				【成績評価の方法と基準】				
					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 <ul style="list-style-type: none"> A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 <ul style="list-style-type: none"> 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
忘れ物、授業態度の指導/授業内容の把握確認/授業出席、遅刻の厳守指導									

講義シラバス

科目名	ラッピングPOP	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	トータルビューティ科			コース		学年	2年生		
講師名	越野 友貴子	講師 プロフィール	ラッピングコーディネーター、フードコーディネーター。 専門学校や自治体、企業研修などでラッピング技術の指導、広告撮影などに携わる						
【授業を通じての到達目標】									
ラッピングの基本となる包み方とリボンの結び方を習得し、作品作りやディスプレイなどでセンスを磨く。									
【学習内容】									
商品のラッピング、カード作成、ディスプレイなど、色の組み合わせやデザインなどを考えながら作成する									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
箱、包装紙、不織布、リボン、カッター、はさみ、セロハンテープ、両面テープなど					ショップのラッピングやディスプレイを考察する				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/24)	【到達目標】授業の内容や目的を確認し、カッターの扱い方を学ぶ オリエンテーション 授業の進め方、贈答のマナー、道具の使い方				⑨ (11/26)	【到達目標】不定形な商品をキレイにラッピングする 商品の包装② ボトル (小テスト5点)			
② (10/1)	【到達目標】合わせ包みと蝶結びをマスターする 基本の包装① 合わせ包み、蝶結び (小テスト5点)				⑩ (12/10)	【到達目標】グループワークでディスプレイ用のクリスマスラッピングを作成する クリスマスのラッピング① ディスプレイ用の作品作り(グループワーク)			
③ (10/8)	【到達目標】うす箱の合わせ包みと裏表のある蝶結びをマスターする 基本の包装② 合わせ包み(うす箱)、裏表のある蝶結び (小テスト5点)				⑪ (12/17)	【到達目標】クリスマスを意識したディスプレイをする クリスマスのラッピング② ディスプレイ (小テスト10点)			
④ (10/15)	【到達目標】ふろしき包みと十字がけをマスターする 基本の包装③ ふろしき包み、十字がけリボン(小テスト5点)				⑫ (1/21)	【到達目標】プチフラワーを作成し、配色やデザインを考えてリースを完成させる フラワーリース作成			
⑤ (10/22)	【到達目標】斜め包みと斜めがけをマスターする 基本の包装④ 斜め包み、斜めがけリボン(小テスト5点) 祝儀、不祝儀の包み方				⑬ (1/28)	【到達目標】オリジナル性のあるデザインを考える バレンタインのラッピング① アイシングクッキーデザイン			
⑥ (10/29)	【到達目標】ハロウィンをイメージしたラッピングやカード作成をする ハロウィンのラッピング、カード作成				⑭ (2/4)	【到達目標】大切な人にプレゼントするイメージで丁寧に仕上げる バレンタインのラッピング② アイシングクッキー作成、ラッピング			
⑦ (11/5)	【到達目標】紙袋を作成し、様々なアレンジラッピングを学ぶ マチ有り袋の作成、袋のラッピング				⑮ (2/11)	【定期試験】50 授業で学んだことを生かして作品を完成させる 定期試験 オリジナルラッピング作品の作成			
⑧ (11/19)	【到達目標】商品をキレイにラッピングする 商品の包装① コスメ (小テスト5点)				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト50点/定期試験50点				
					●評価				
					A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
					●評価方法				
					評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
基本の技術の習得が重要になるため欠席がないようにお願いします。									